

# ひ 陽だまり

令和5年10月9日  
東海市立平洲小学校  
学校だより



## 平洲小学校が目指す“保護者の学校参画”

校長 田川 弘樹

2学期が始まって、はや1ヶ月余りが過ぎました。異常気象で10月になっても暑い日が続きますが、多少体が疲れていても、子どもたちの元気なあいさつを聞くと元気になります。この仕事をしている者の特権です。

先月末、台風で中止になった林間学習に代えて、“School Day Camp”を開催したところ、約50名の保護者が協力してくださいました。体育館での自然学習、ピロティと家庭科室でのカレーライス作り、校庭でのキャンプファイヤー、校舎内での肝試し。どれも学校として初めての取組で慣れないことが多く、保護者のみなさんの協力が本当にありがたかったです。

学校が保護者に助けていただくのは、今に始まったことではありません。平洲小学校には昔から（私が担任として平洲小学校で勤めていた頃から）、ボランティア文化が根付いています。今では学校支援協議会の傘下にボランティアコーディネーターという役職を置き、ボランティア活動を取りまとめるようシステム化されています。そして、ボランティア登録をした保護者（OB・OGも含む）、地域の方が、平洲小学校の子どもたちのために活動してくださっています。

今ある草花ボランティア、図書ボランティア、読み聞かせボランティア、学習支援ボランティアに加え、これからもボランティア活動の場を増やし、多くの保護者が学校に足を運ぶ機会を増やしていきたいと思っています。様々なボランティア活動に参加していただく中で、保護者の思いを吸い上げながら学校運営ができれば、自ずと子どもたちにとって素敵な学校になると思っています。

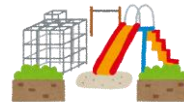
ボランティア登録を迷っている方は、ぜひ登録してください。また、これまで登録を考慮していなかった方は、前向きに検討してみてください。

話は変わりますが、今月25日（金）に運動会があります。学校では、あちらこちらで運動会の準備が進められています。子どもたちの活躍があふれる運動会です。それぞれのお子さんはもちろんですが、それだけでなく、平洲小学校の全ての子どもたちのがんばる姿を見てください。

### ☆☆☆輝く 平洲っ子☆☆☆

<東海市の公園PR書作品>

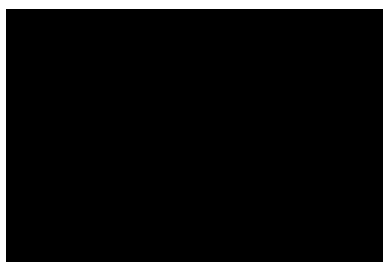
特選



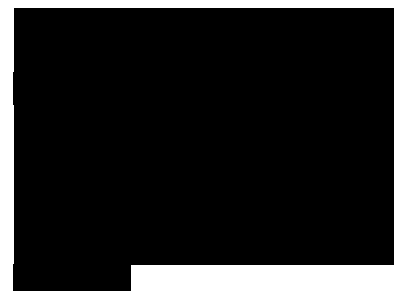
### ☆☆☆ 後期 学級委員 ☆☆☆

学級のリーダーとして、今後の活躍を期待しています。

3年1組  
3年2組  
3年3組  
3年4組  
4年1組  
4年2組  
4年3組  
4年4組



5年1組  
5年2組  
5年3組  
5年4組  
6年1組  
6年2組  
6年3組  
6年4組  
あおぞら



## 10月の予定

17日(木)	40分授業		
24日(木)	運動会準備	1～4年生	13:30下校
		5・6年生	15:20下校
25日(金)	運動会	1～5年生	14:35下校
		6年生	15:40下校
29日(火)	5時間授業	運動会予備日	代表委員会
30日(水)	5時間授業	運動会予備日	
31日(木)	教育相談	40分授業	



## 11月の予定

1日(金)	就学時健康診断	40分授業	12:55下校
5日(火)	市内一斉避難訓練		
6日(水)	教育相談	40分授業	
7日(木)	教育相談	40分授業	
8日(金)	教育相談	40分授業	
12日(火)	口座振替日	教育相談	40分授業
14日(木)	クラブ		
18日(月)	委員会		
19日(火)	②③授業公開日	④PTA出前講座	*○数字は、授業時間を表しています。
28日(木)	5時間授業	14:45下校	
29日(金)	5時間授業	14:45下校	

令和6年度 東海市教育委員会・東海市小中学校 PTA 連絡協議会 教育懇談会 分科会まとめ(8月23日実施)

【上記の会に PTA 役員さんにご出席いただきました。その際に話し合われた意見をご紹介します】

### 【SNSの使い方・インターネットフィルタリング・家庭内での使用時間の制限・情報モラル教育など】

- ・保護者としての役割の難しさがある。小学校あたりから保護者が相談する場所が減っているように感じる。
- ・タブレット端末について、先生・家庭の双方に負担のないかたちが良いと感じる。
- ・子どもや親に携帯のメリットデメリットを伝えたい。
- ・親子のコミュニケーションや連携を取ることが大切。
- ・子どもにスマホを持たせるリスクについて考えたい。
- ・子どもたちのグループラインでは、発言の仕方など親が使い方を教えてあげないと問題につながる。
- ・SNSの使い方は親が教えてあげないといけないので親向けの学習会があるとよい。
- ・SNSは、親の知らないところでトラブルにつながる恐れがある。保護者が知識を得ることが必要。
- ・フィルタリングを設定している家庭は多い。保護者がコントロールできるようにすることが大切である。
- ・LINE内の人間関係も経験。親とのコミュニケーションで支える。自分の力で生きられるように。
- ・発散する場所も必要。親だけでなく別のコミュニティが合っても良いのでは。
- ・心配なことは多いけど、応援に変えたい。細かいことにがみがみ言い過ぎない。

### 【休日の部活動の段階的な地域移行・合理的で効率的な部活動の推進など】

- ・部活動について保護者が意見を言うことが少ない。教員の指導が指導することで競技性と教育面が期待できる。双方もっと意見交換が必要なのでは。
- ・部活動にこだわらず、空いた時間を使って新しいこと、挑戦できることを見付けられるのでは。
- ・地域に休日に様々なことを体験できる場所があるとよいと考える。
- ・ウォーキングや畑仕事など従来の概念を外して地域とともに活動するのはどうだろう。
- ・課外活動に重点を置いて話したが、部活動自体、当たり前前に所属する時代から変わってきている。私たちも考え方を考える必要がある。目的のある子、目的を見つけられる子にとって、プロフェッショナルによる指導は非常によいことだと思う。
- ・家族で出かけて、何かきっかけの体験も必要。
- ・自分たちの「好き」を探すことをやっていく。

### 【学校支援について】

- ・何かしたいとは思っているが、思うような活動ができない。

### 【不登校傾向の児童生徒への支援と、その児童生徒を支える家庭への支援】

- ・不登校傾向の対応として、ほっと東海に通う。学校以外でも子どもたちが触れ合える環境をつくる。
- ・ほっと東海が、不登校の児童生徒の居場所になっていてありがたい。